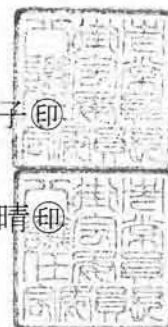


平成28年 5月26日

八街市議会議長 加藤 弘 様

総務常任委員会 委員長 新宅 雅子^印

経済建設常任委員会 委員長 木村 利晴^印



先進地視察報告書

先進地視察の概要を下記のとおり報告します。

記

1. 視察者名

- ・総務常任委員会 新宅 雅子
鈴木 広美
加藤 弘
小菅 耕二
- ・経済建設常任委員会 木村 利晴
林 政男
小高 良則
山口 孝弘
石井 孝昭
角 麻子

2. 視察期間

平成28年 5月 9日(月) ～ 平成28年 5月10日(火)
(2日間)

3. 視察先及び視察目的

- | | | | |
|-----|----------|---------------|-----------------------------------|
| (1) | 5月 9日(月) | <u>足 利 市</u> | <u>企業誘致 について</u> |
| (2) | 5月 9日(月) | <u>足 利 市</u> | <u>行財政改革 について</u> |
| (3) | 5月10日(火) | <u>那須塩原 市</u> | <u>農観商工連携による地域
産業の活性化について</u> |
| (4) | 5月10日(火) | <u>那須塩原 市</u> | <u>定住促進 について</u> |

4. 視察報告

(1) 足利市 企業誘致 について

◆市の概要

市の北部に足尾山地、南部に関東平野が広がり、中央部を渡良瀬川が流れる。1990年の16万8,217人をピークに人口減少が続いている。宇都宮市に次ぐ規模を誇っていたが、2005年国勢調査にて小山市に、2014年に下都賀郡岩舟町を編入した栃木市に抜かれ、現在は県内4番目の人口規模となっている。足利義康の時代から絹の産地として有り、近世近代において織物業が発達した。

◆視察時の状況

- ①視 察 日 平成28年 5月 9日 (月)
- ②視 察 時 間 午前・午後 1時30分～午前・午後 2時30分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分
- ③視 察 会 場 足利市役所 会議室
- ④応対者職氏名 議事課 副主幹 佐藤 祐子 様
- ⑤写 真 添 付

◆視察先調査事項の概要

1. 企業誘致への取り組みについて
2. 企業立地及び新規産業団地の計画について
3. 足利市企業立地促進制度について
4. 平成27年度事業ガイドー商工振興施策について

◆調査事項に対する視察目的

1. 企業誘致の基本戦略について
 - － 1) 推進体制
 - － 2) 優遇制度
 - － 3) PR 事業
 - － 4) サポート体制
2. 産業団地及び工業団地の状況について

◆ 市政との関連性（視察地選択の理由等）

八街市内に産業、工業団地がなく、少子高齢化が進んできていることから人口の流出による生産、労働者人口の減少を防御していかなければならない。その為の企業誘致は欠くことの出来ない取り組みであることから、産業団地12カ所、工業団地を2カ所所有する足利市の取り組み、現状を知ることは本市にとって大変参考になる事業取り組みと思われます。

◆ 市政の課題等に対し参考になった点等

- ・ 目標を定め工業団地の分譲（5年間で完売）
- ・ 企業誘致のための専門部署「企業進行課」を設置し事業主体との協力連携する体制を整備
- ・ 優遇制度の導入（上限なし、多様なメニュー）
- ・ 積極的なPR事業の展開
- ・ サポート体制の確立
（立地前から操業まで、ワンストップでサポート）

(2) 足利市 行財政改革 について

◆視察時の状況

- ①視 察 日 平成28年 5月 9日 (月)
- ②視 察 時 間 午前・~~午後~~ 2時45分～午前・~~午後~~ 4時00分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分
- ③視 察 会 場 足利市役所 会議室
- ④応対者職氏名 議事課 副主幹 佐藤 祐子 様
- ⑤写 真 添 付

◆視察先調査事項の概要

- ・第7次足利市行政改革大綱及び実施計画（平成28年度～33年度）

◆調査事項に対する視察目的

- ・八街市の行財政改革との比較
- ・取り入れられる内容があるか

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

- ・行財政改革を早くから取り入れており、内容についても実行性、実現性など、時代にあった取り組み方をしている為。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

- ・人材の育成と活用（市民力の発揮、職員の向上）
 1. 人事制度の見直し（民間企業からの外部人材の活用）
 2. 市民、行政、企業の連携の仕組み、取り組み
 3. 職員の意識力、行動力の高さ

(3) 那須塩原市 農観商工連携による地域産業の活性化 について

◆市の概要

東京－仙台のほぼ中間に位置し、広大な那須野が原北西一帯を占めている。西側に高原山、北側に大佐飛山地、那須岳に連なる山岳部があり北東に那珂川、南西に箒川が南東方向に、その中央には、南西から北東に東北新幹線と宇都宮線、東北自動車道、国道4号の幹線交通網が縦貫する。西那須野駅のある西那須野地区は、塩原温泉、大田原市への玄関口となっており、日本有数のリゾート地那須高原への玄関口となっている黒磯とともに県北地域の交通の要衝となっている。

◆視察時の状況

- | | |
|---------|--|
| ①視察日 | 平成28年 5月10日 (火) |
| ②視察時間 | 午前・午後10時00分～午前・午後11時00分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分 |
| ③視察会場 | 那須塩原市第4委員会室 |
| ④応対者職氏名 | 議事課長 増田 健造 様
係長 田野 恵子 様 主事 本間 奈都生 様 |
| ⑤写真添付 | |

◆視察先調査事項の概要

1. 地域ブランドの創出について
2. 付加価値ある新商品の開発について
3. 地産地消の推進について
4. 販路開発、拡大について
5. 事業予算について

◆調査事項に対する視察目的

1. 地域ブランドの認定制度について
2. 地域ブランドのPR促進について
3. 付加価値のある商品開発について
4. 地産地消のマーケティングの重要性について
5. 販路開発、拡大に向けてのPR事業について
6. 農観商工連携推進協議会参加商業施設への販売拡大について
7. 農観商工連携推進事業予算について

◆ 市政との関連性（視察地選択の理由等）

八街市の活性化は、地元産業が元気にならないと、地域ブランドの創出は、欠くことの出来ないテーマであります。地域の活性化及び振興を図っていくうえで、地域産品の地産地消拡大や地域ブランド化、付加価値のある商品開発、販路拡大に取り組む那須塩原市の事業展開は今後の八街市の活性化に大いに参考となるものが多くあるものと思われる。

◆ 市政の課題等に対し参考になった点等

- ・ 地域ブランドの認定品について、3年ごとに見直しをしていること。又、認定品に強い「こだわり」をもって審査していること。
- ・ 農協以外への販路拡大に力を入れていること。
- ・ 少額な予算規模ではあるが、東京スカイツリーのアンテナショップにおいて、観光をPRし、広い分野で当地の資源紹介を行い知名度の向上と誘客に努めている。

◆視察時の状況

- ①視 察 日 平成28年 5月10日 (火)
- ②視 察 時 間 午前・午後11時10分～午前・午後12時10分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分
- ③視 察 会 場 那須塩原市第4委員会室
- ④応対者職氏名 議事課長 増田 健造 様
係長 田野 恵子 様 主事 本間 奈都生 様
- ⑤写 真 添 付

◆視察先調査事項の概要

- ・市の若手職員を中心に若者の移住・定住促進の案を考え進めていく。

◆調査事項に対する視察目的

- ・生産年齢人口が減少し、老年人口が増えると社会保障費が増えて経済が縮小する。

本市でいかに克服するか、大事な問題と思います。

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

- ・定住促進に努力していること。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

- ・子育て世代を市に呼び込むことは、重要なテーマである。

生産年齢人口をいかに増やすか、少なくとも減少率をいかに少なくするかに努力していること。参考になりました。

足利市



那須塩原市

